

R2大垣市立西中学校の授業はこれだ!

学習過程		生徒の学習像		教師の指導・援助
3つの見届け	学習の進め方	思考の進め方		
実態 着眼する過程 自分の課題を確認し、学習に対しての意欲をもつ。 見通しをもつ。	研究の視点① 「問い」を生み出し、強い課題意識がもてる課題化の在り方			
	課題設定の工夫 ○「なぜだろう」「やってみたい」などの意欲や気持ちがある。 ○自分の願いや思いをもっている。 ○自分の考えと比較しながら資料を確認する。 ○「なぜ」「やってみたい」と生徒の心が揺さぶられ、生徒の中に学びが起きるような課題を設定する。 ・意欲や興味を喚起するもの ・必然性や切実感のあるもの ・葛藤や対立、疑問の状況が生じるもの			
	課題提示の工夫 ○自分の課題を明確にする。 ○課題化までの可視化コンテンツ(写真、資料、テレビ等)を上手く使い、課題化までをイメージしやすくする。			
学習状況 検証する過程 自分の考えをもつ。 課題を確認しながら、自分の考えを深める。 仲間や資料を求め、交流する。	研究の視点② 考える視点(見方・考え方)を活用し、自分の考えや表現を深めるための交流活動の在り方			
	自分の考えのもつ場の設定 ○課題に沿って考えをつくる。 ○何度も願いと照らし合わせながら考えや表現を吟味する。 ○一人一人のつまずきや個の学習状況に応じた手立てを行う。 ○少人数指導やTT指導を生かし、考えが記述できるようにする。 ○自分の考えをじっくりつくることのできる時間を確保する。			
	★学びを深める交流活動の工夫 【ポイント】リアクションを求めてアクションを起こす ⑤自分の考えを見つめる ②内容を理解する ①伝える ③自分の考えと比べる ④伝える ○求める目的をはっきりさせて、仲間を求めていき、自分の考えや表現を見つめる。 ○考える視点(見方・考え方)を活用して仲間の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりして自分の考えや表現を深める。 ○課題に対して追求し、自分の考えを深めたり、再構築したりする。 ○教科の考える視点(見方・考え方)を活用した交流を位置付け自分の考えを広げ深められるようにする。 【学びを深める交流活動の手立て】 ・考える視点(見方・考え方)を活用できる交流を仕組む。 ・相手に分かりやすく伝えることができるよう伝え方の指導を行う。 ・相手の言っていることが理解できるよう聴く力の指導を行う。 ・交流後に自分の考えが確かかどうかを判断し、見つめる場の設定を行う。			
定着 一般化する過程 学習を振り返る。	研究の視点③ 自分の学びのよさを実感し、次時への見通しがもてる評価の在り方			
	学習課題とつなげて振り返り、次時への見通しがもてる自己評価の工夫 ○自分の課題と照らし合わせながら、本時の学習を振り返ることで、自分の考えや表現の高まりや深まりを実感する。 ○生徒の学びのよさを価値付け、顕在化する全体交流の場を位置付ける。 ○自分の学びのよさを実感できる振り返りカードを活用する。 ○課題とつなげて自分の学びの過程を振り返る場を位置付ける。 ○子ども変容を価値付け、学びのよさを顕在化する振り返りの場を設定する。 ○仲間からの評価から自分の学びのよさを振り返る相互交流の場を位置付ける。			
	仲間から自分の学びのよさを再認識できる相互評価の工夫 ○これまでの活動を振り返り、今後の活動への課題を考え、次の活動に生かす。 学びのよさに気付かせ、顕在化する教師評価の工夫			
「より確かに」「もっとやりたい」と意欲がもてる家庭学習の充実				
○本時で学んだ内容をつなげる家庭学習を行う。 ○授業の終わりに学んだ内容をより確かなものにするために取り組むとよい問題や内容を示す。				